

# 新宗教新聞

スローガン  
信教の自由を守ろう  
宗教協力を進めよう  
世界の平和に貢献しよう

## 教団人七三十一 新宗連

### 高齢化社会の男性問題 夫の「上から目線」 妻の負担、病因に

新日本宗教団体連合会(新宗連)は9月27日午後1時半から、大阪市西区の立正佼成会大阪西門で「第30回教団人セミナー」を開催した。講師は、大阪樟蔭大学教授、医師の石蔵文信氏。「超高齢化社会における男性問題」妻の病気の9割は夫が関与する」と題し、高齢化社会における夫婦間の問題について講演。加齢に伴う夫婦関係の悪化、信徒にも関わる問題について学びを深めた。

石蔵氏は、夫婦の関係を政治家として見ても上から目線に陥るには夫の「上から目線」をやるべきだと述べた。大切にして、特に「聖職者」といわれる宗教者、医師、多くの学校の先生、また正義の味方といわれる法律家、警察、政治家など、上から目線になりがちだと述べた。

「毎日一緒にいるというよりも妻に依存してしまっている」という妻の負担になり、妻の負担が及ぼしてしまっている。最悪の場合、うつ病を発症するケースもある。妻の病気の原因が夫にあると指摘した。

石蔵氏は患者として妻を診察する際、夫と一緒に生活する中で妻の負担を軽減させることが重要だと述べた。夫の負担を軽減させるためには、夫の趣味や地域活動のつながりを持つことが必要だと述べた。

石蔵氏は、夫が家庭内での役割を押し付け、妻の負担を増やしている。妻の負担を軽減させるためには、夫の負担を軽減させる必要があると述べた。



信教の自由を守ろう 宗教協力を進めよう 世界の平和に貢献しよう

石蔵氏は、妻を一人として見ると、妻の自立が難しくなる。妻の自立を促すためには、夫の負担を軽減させる必要があると述べた。

石蔵氏は、妻を一人として見ると、妻の自立が難しくなる。妻の自立を促すためには、夫の負担を軽減させる必要があると述べた。

### 被災地の依頼に応え 支援物資を寄贈

新宗連は平成28年熊本地震復興支援活動で、5月24日から約2カ月間にわたって西原村の復興支援物資ボランティアセンターに対し、ボランティア関係から、ボランティアセンターからの依頼に応え、支援物資を寄贈した。

熊本地震の被災地では、地震による屋根の倒壊、瓦の崩落などにより家屋への浸水・雨漏り被害が続いている。浸水の被害が続く中、ブルーシートによる応急対応が続いていたが、一度張ったブルーシートは、一度張ったのも日光や雨風による劣化が進み、張り直しの必要が高まっている。

今回は、新宗連から熊本地震復興支援活動で、5月24日から約2カ月間にわたって西原村の復興支援物資ボランティアセンターに対し、ボランティア関係から、ボランティアセンターからの依頼に応え、支援物資を寄贈した。

### 北朝鮮の核実験に対し声明

世界宗教者平和会議(WCRP)は、北朝鮮の核実験に対し声明を発表した。北朝鮮の核実験は、国際法に違反し、核拡散防止条約に違反している。北朝鮮は、核実験を中止し、核廃絶に取り組むべきである。北朝鮮の核実験は、国際法に違反し、核拡散防止条約に違反している。北朝鮮は、核実験を中止し、核廃絶に取り組むべきである。

### モラハラ

「モラハラ」の略語。倫理や道徳をふりかざし、言葉や態度で相手の心や尊厳を継続的に傷つけて追い詰める精神的暴力のこと。やましい気持ちを持って行う精神的DV(家庭内暴力)に対し、「モラハラ」は「自分は正しいことをやっている」と思い行動するため、相手を傷つけているという自覚がない場合が多い。また、モラハラを受ける側も、自分がダメな人間だと思い込まれてしまい、自分が被害者だと気付かず、周囲にも理解されないまま短時間で精神的に追い詰められていくこともある。(1面)

### 開運商法の現状を報告 啓蒙活動を通じ被害を防ぐ

全国霊感商法対策弁護士連絡会(全国弁連)は9月16日午後1時から、東京都内で「第64回全国集会」を開催した。基調報告で、渡辺博弁護士は、世界基督教統一神霊協会(統一教会)が昨年8月、「世界平和統一家庭連合(家庭連合)」に名称変更し、1年を経て今年8月「統一教会」の名称に統一教会を併記した。統一教会は、統一教会の名称に統一教会を併記した。統一教会は、統一教会の名称に統一教会を併記した。

また、川井氏は、開運商法に絡む二つの裁判を報告した。一つは、開運商法業者のアフレット広告を掲載した責任を問う。雑誌社を訴えた裁判について、二つ目は、開運商法で多額の金銭を支払ったとして、被害者を救済するための開運商法業者の責任を問う。雑誌社を訴えた裁判について、二つ目は、開運商法で多額の金銭を支払ったとして、被害者を救済するための開運商法業者の責任を問う。

また、川井氏は、開運商法に絡む二つの裁判を報告した。一つは、開運商法業者のアフレット広告を掲載した責任を問う。雑誌社を訴えた裁判について、二つ目は、開運商法で多額の金銭を支払ったとして、被害者を救済するための開運商法業者の責任を問う。雑誌社を訴えた裁判について、二つ目は、開運商法で多額の金銭を支払ったとして、被害者を救済するための開運商法業者の責任を問う。

### 被災地の依頼に応え 支援物資を寄贈

新宗連は平成28年熊本地震復興支援活動で、5月24日から約2カ月間にわたって西原村の復興支援物資ボランティアセンターに対し、ボランティア関係から、ボランティアセンターからの依頼に応え、支援物資を寄贈した。

### 北朝鮮の核実験に対し声明

世界宗教者平和会議(WCRP)は、北朝鮮の核実験に対し声明を発表した。北朝鮮の核実験は、国際法に違反し、核拡散防止条約に違反している。北朝鮮は、核実験を中止し、核廃絶に取り組むべきである。北朝鮮の核実験は、国際法に違反し、核拡散防止条約に違反している。北朝鮮は、核実験を中止し、核廃絶に取り組むべきである。

### モラハラ

「モラハラ」の略語。倫理や道徳をふりかざし、言葉や態度で相手の心や尊厳を継続的に傷つけて追い詰める精神的暴力のこと。やましい気持ちを持って行う精神的DV(家庭内暴力)に対し、「モラハラ」は「自分は正しいことをやっている」と思い行動するため、相手を傷つけているという自覚がない場合が多い。また、モラハラを受ける側も、自分がダメな人間だと思い込まれてしまい、自分が被害者だと気付かず、周囲にも理解されないまま短時間で精神的に追い詰められていくこともある。(1面)

宗教をめぐるさまざまな問題のご相談窓口  
**宗教もしも相談室**  
03-3466-9900  
受付 ●月曜～金曜 ●正午～午後4時  
公益財団法人 新日本宗教団体連合会

所得税0への道 2016年版  
著：太田哲一  
電子版「所得税0への道 2016年版」  
最新184ページ Kindle BookView 好評発売中

### 濁々抄

中学生の時、社会の授業で、公務員のことを公僕ともいわれる。公僕と聞いて、古くは王様を侍らせた。公僕と聞いて、古くは王様を侍らせた。公僕と聞いて、古くは王様を侍らせた。

### 民の声を聞く

公務員の在り方について、今一度、民の声を聞く必要がある。公務員の在り方について、今一度、民の声を聞く必要がある。公務員の在り方について、今一度、民の声を聞く必要がある。

### 現代世界と宗教の課題

宗教間対話と公共哲学  
星川啓祐 山崎直樹 山崎直樹 山崎直樹  
著

### 合掌がでかきない 子どもたち

浄土真宗本願寺派福智寺住持 三上章道 著  
四六判 定価300円

### 法華経の世界

法華経の世界 日本語訳  
著：ひろさちや  
電子版「所得税0への道 2016年版」

### 解脱会

解脱会 新編 解脱金剛伝 全3巻  
A5判 上製函装 定価3000円(税込)  
解脱会 新編 解脱金剛伝 全3巻

### 芸術生活社

老春歌 長生きの秘訣  
御木徳近著  
高齢者を快く生きるための「人生の道しるべ」

### 神宮祭祀の研究

神宮祭祀の研究 中西正幸 著  
神宮祭祀の研究 中西正幸 著

### 清文社

宗教法人の 税務調査対応ハンドブック  
石村耕治 編  
宗教法人の税務調査対応ハンドブック



# いのちの尊さに目覚め感謝を

## 教祖ご昇天33年祭・第31回合祀敬霊祭 修養団捧誠会

東京・池袋の修養団捧誠の悠久世界平和郷で「教祖ご昇天33年祭並びに第31回合祀敬霊祭」を執り行った。



御霊の教祖と会母の坐像前で「教祖礼拝の詞」を奏する出居総裁

出居久総裁が万葉万物を代表し加藤正太郎さんが御霊を述べ、教祖への感謝が表された。

1981(昭和56)年12月19日の「教祖おとほし」(録音)拝聴、教祖讃歌(斉唱の後、早山徹会長が「IS(イスラム)などによるテロが世界各地で起こっている現代、他の宗教や文化を尊重せよ」の出居教祖の平和の教を求められるとして、「私たちは教祖の理念を大きな目標として、誇りを持ち、粘り強く広めていかなければなりません」と述べた。この後、来賓の中谷元衆議院議員があいさつ、会員

# 全国の特産品求め多くの来場者

## 第42回大和山チャリティーバザー 松緑神道大和山

青森県平内町の松緑神道大和山(田澤清喜教主)は9月11日午前9時から、青森県五所川原市のふるさと交流センター前の特設会場で「第42回大和山チャリティーバザー」を開催した。



晴天のもと賑わいを見せる会場。バザーの収益は、社会福祉協議会等を通じて、世界平和活動に役立てられる

が主催者あいつつ、「42年が主催者あいつつ、これら間引き継がれているバザーから、継続の大切さ、人と人との繋がり支え合うことと語った。

来賓あいつつに続き、五所川原市社会福祉協議会に、昨年のチャリティーバザーの収益の一部を贈呈した。この後、大和山聖歌「世界平和祈願」の歌を全員で奉唱した。

## 聖観音像を拝し平和願う

### 世界助け之聖観音像秋季大祭 天真教

天真教(神出修二教主)は9月22日、三重県伊賀市の本部で「第45回世界助け之聖観音像秋季大祭」を執り行った。

名・大納言之宮千願不動慈悲菩薩十手観音大権現像として、1972(昭和47)年3月に故神出房江教祖が

午前10時10分、神出修二教主が本部・平安城神前で前祭を執り行い、三社殿に拝した後、守り刀を拝受した天眞武之命の川西属さんが出陣準備の号令を出し、神輿に「天眞武之命」を遷座した。その後、紅白の花傘、福寿旗、長刀持ち、槍持ち、七福神、斎主、神輿、幟を持った信徒らが平安城前を出発。「無一空一我無也」と唱えながら花園のお地場まで練り歩いた。

## 感謝の心持ち続け精進を

### 創立50周年記念式典 佼成出版社

株式会社 佼成出版社 創立50周年記念式典

立正佼成会(庭野日鏡会長)の機関紙誌や仏教書などの発行を行っている佼成出版社(水野博文社長)は、8月29日午前9時半から、本社を置く東京都杉並区の佼成ビルで「創立50周年記念式典」をつたえるようこびつなげ、チャカラをテーマに開催した。

庭野会長は法話で、感謝の心を持ち続けること、体の動きに意識を傾けることを説いた

幸せになるには目の現象に振り回されず、感謝の心を持ち続けることが大切と述べ、無自覚のうちに育っている体の動きに意識を傾けることを強調、生かされていることに気付く、自己の存在を肯定でき、すでに救われていることに気付くことを説き、出席者に今後の精進を促した。

午後1時からは、佼成ビルにほど近い法輪園で記念祝賀会を開催した。鏡開きやこれまでの歩みを紹介するVTR放映、来賓祝辞のほか、水野社長の前座プレゼンテーションでは、デジタルコンテンツの開発や配信事業など、「つたえるよこびつなげ」をテーマとした新たな出版事業の拡充が説明された。

庭野次代会長の祝辞披露では、佼成出版社が扱っているものはすべて「読者の人生への贈り物」であるとして、「私ほこれからも出版社の皆さまと共に、多くの方々の心に贈り物を届けるために努力していきたい」とのメッセージが読み上げられた。

# 台風被害からの復興も祈願

## 平成28年度例大祭 日本神宮本庁



日本神宮本庁(中島秀典管長)は9月15日午前11時から、北海道帯広市の本宮・帯広明神大社で「平成28年度例大祭」を斎行した。崇敬者が着席した後、斎主の中島秀典管長と祭員が入殿。太鼓が打ち鳴らされ、

「日本神宮御神文」を奏読する中島管長(中央) 祭典が閉式した。修成、開扉、献饌の儀の後、中島管長が神前に進み、「天祭祝詞」を奏上、併せて台風10号に伴う十勝管内の水害などの被害からの復興を祈願した。

続いて、中島管長が「日本神宮御神文」を奉読。善因善果、悪因悪果の法則を自覚し、信仰を深め、心を浄化していく大切さを語り上げた。

中島管長が玉串を奉奠した後、役員、来賓、参列者が一人ひとりの神前に進み玉串を奉げた。 祭典直会では、恒例の秋鮭鍋が振る舞われたほか、奉納芸能では、日本舞踊やマンドリン、帯広畜産大学学生によるよさこいなどが披露された。

## 七福会教主 眞塩慈照師が逝去

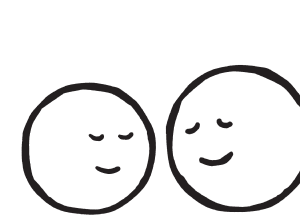
七福会教主の眞塩慈照師(本名・眞塩宮子)が8月28日午前2時48分、心不全のため、東京都渋谷区西原の自宅で逝去した。享年88歳。七福会創始者の溝上恵照師の長女として、1919(大正8)年4月18日、長崎県長崎市

に生まれる。84(昭和59)年9月28日、創始者の帰幽の後、主管に就任、呼称は「教主」。新日本宗教団体連合会(新宗連)では評議員を務めた。

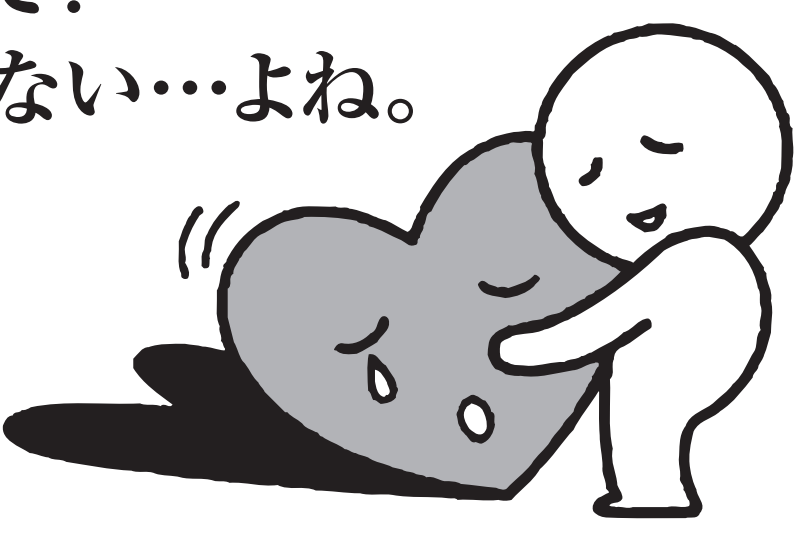
通夜は9月3日午後6時から、告別式は翌4日午前11時から、東京都渋谷区西原の代々木斎場で行われた。喪主は長男で七福会理事長、新宗連評議員の眞塩陽一郎氏。

# ひとりで悩まず電話して!

## ホントにつらい時って誰にもいえない...よね。



- 必要に応じて面接をしています。
- 手紙でのご相談にも応じています。
- 秘密は守られます。
- 相談は無料です(通話料はかかります)。
- 金銭的な援助はできません。
- 医療・法律・教育関係の助言や指導は、専門家をお願いします。
- 特定の思想・宗教・政党などとは一切関係ありません。



NPO法人 国際ビフランダース  
**東京自殺防止センター**  
**03-5286-9090**  
 年中無休、夜8時から翌朝6時まで  
 火曜のみ午後5時から翌朝6時まで  
 〒169-0072 東京都新宿区大久保3-10-1 日本基督教団JAM教会内  
 事務局電話番号 03-3207-5040 (FAX 03-3207-5098)

●全国にある他の自殺防止センター

- 国際ビフランダース 大阪自殺防止センター 06-6260-4343 毎週日曜、午後1時から日曜、午後10時まで
- 国際ビフランダース 宮崎自殺防止センター 0985-77-9090 毎週日曜・月曜・水曜・金曜、午後8時から午後11時まで
- 国際ビフランダース 岩手自殺防止センター 019-621-9090 毎週土曜、午後8時から午前4時まで
- 国際ビフランダース あいち自殺防止センター 0568-70-9090 毎週土曜、午前0時から午前5時まで

